

19. 船員労働の概況

〔1〕 船員の最低賃金の概要

令和4年度、国土交通大臣決定の最低賃金は、大型いか釣りを除く業種が諮問され、改正が行なわれた。
九州運輸局長決定の最低賃金は、4業種全てについて、令和4年8月22日に諮問され、改正に向けての作業が進められている。

(1) 内航鋼船及び木船運航業最低賃金(月額)

表－3

賃金額 適用地域	最低賃金					効力発生 年月日
	職 員		はしけ長	部 員		
		(注)若年船員		海上経験3年 未満の部員		
全国	円 251,750	円 235,300	円 —	円 193,150	円 183,850	R5.2.19
九州運輸局	円 251,200	円 234,750	円 251,200	円 192,600	円 183,300	R4.5.8

(注) 若年船員 船舶職員養成施設のうち特定の養成施設の課程を修了した後の勤務期間が、当該課程ごとに定める期間に満たない者

(2) 海上旅客運送業最低賃金(月額)

表－4

賃金額 適用地域	最低賃金		効力発生 年月日
	職 員	部 員	
全国	円 248,350 事務部職員 194,250	円 186,900	R5.2.19
九州運輸局	円 245,900	円 178,550	R4.5.8

(3) 漁業最低賃金(月額)

表－5

賃金額 適用地域	最低賃金(一人歩船員)					効力発生 年月日
	かつお・まぐろ	大型いか釣り	沖合底びき網	大 中 型 ま き 網		
					特例地区	
全国	円 199,300	円 203,300	円 —	円 —	円 —	R5.1.25
九州運輸局	円 —	円 —	円 187,000	円 198,000	円 —	R4.5.8

※1. 遠洋まぐろは、遠洋かつお漁業及び近海かつお・まぐろ漁業を含む業種へ拡大し、かつお・まぐろと改正。

2. 大中型まき網の九州の特例地域は、令和4年度解除された。

〔2〕 船員職業安定業務の概要

(1) 求人概要

令和3年の新規求人数は、2,753人で全国の13,308人に対し、20.6%となっている。

新規求人2,753人のうち船種別求人状況は、外航部門2人、内航部門(旅客船その他を含む。)2,498人、漁船部門253人となっている。

(2) 求職概要

令和3年の新規求職数は、1,246人で全国の3,750人に対し、33.2%となっている。

新規求職1,246人のうち船種別求職状況は、外航部門2人、内航部門(旅客船その他を含む。)1,218人、漁船部門26人となっている。

(3) 成立状況

令和3年の成立件数は、223件で全国の959件に対し、23.2%となっている。

成立件数223件のうち船種別成立状況は、外航部門0件、内航部門(旅客船その他を含む。)222件、漁船部門1件となっている。

なお、就職の成立が不調に終わる原因は、①若年層及び中堅職員の求人に対し、求職者の高齢化(求職者のうち、59.3%が50歳以上の船員)、②労働条件(賃金、雇用期間等)の相違、③雇用条件(海技資格・経験等)のミスマッチ、等がある。

船員職業紹介実績は表-6のとおりである。

表-6

(令和3年)

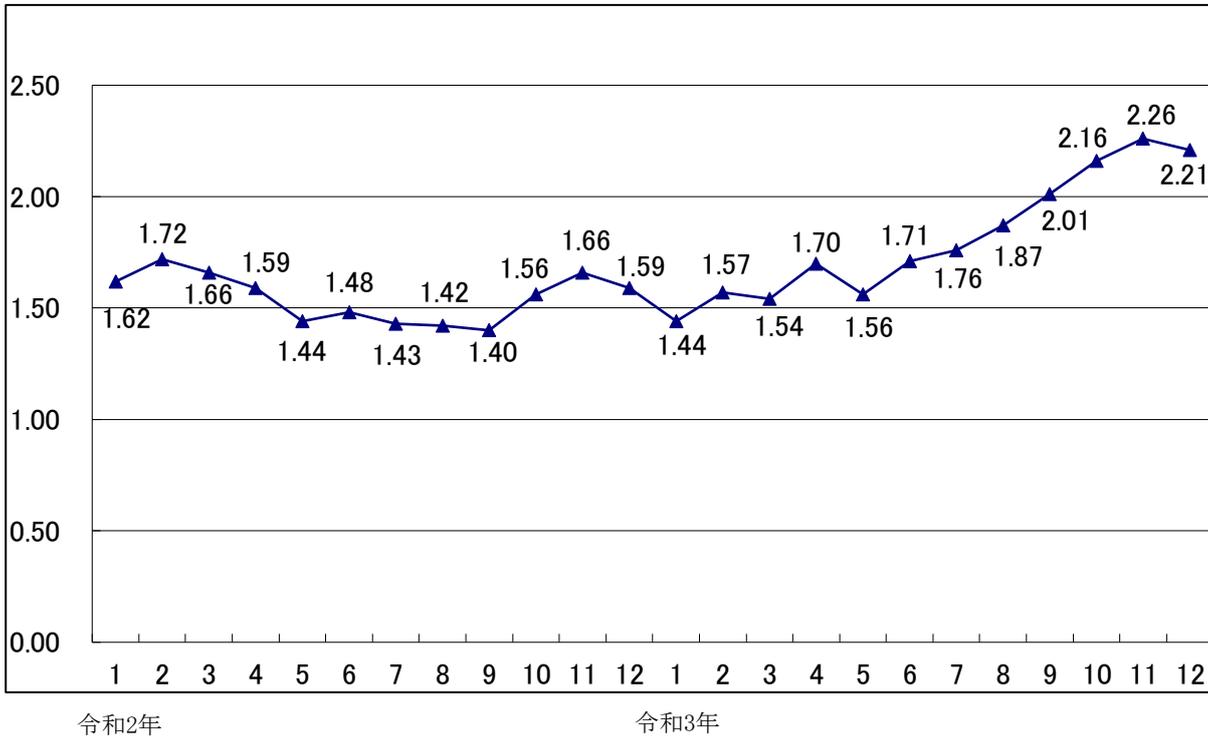
局 別 \ 区 分	新規求人 申込数(人)	新規求職 申込数(人)	成立数(件)
本 局	228	197	29
福 岡	176	29	15
若 松	425	49	24
長 崎	393	214	29
佐 世 保	137	103	12
熊 本	483	143	45
大 分	338	145	34
宮 崎	23	165	4
鹿 児 島	303	117	12
下 関	247	84	19
計	2,753	1,246	223

(4) 有効求人倍率概要

令和3年末の有効求人倍率は、2.21倍であった。(有効求人倍率月別推移は表-7のとおりである。)
 全国は3.53倍で管内の有効求人倍率より1.32ポイント高くなっている。これは、管内の九州・山口地区においては、伝統的に全国船員の供給地であることから求職者が多く、有効求人倍率は全国より低くなっているためである。

表-7

管内月別有効求人倍率の推移



(5) 船員失業保険金支給概要

令和3年における雇用保険の失業等給付の支給延件数は、821件で全国の2,261件に対し、36.3%となっている。船種別では、商船が774件、漁船が47件となっている。

なお、失業等給付の給付金は、概ね1億2千万円で、全国の3億2千万円に対し37.5%となっており、受給者実数は706人で、全国の1,924人に対し36.6%となっている。

船員失業保険金支給実績は表-8のとおりである。

表-8

(令和3年)

局別	区分	受給者実数 (人)	支給件数 (件)	支給金額 (円)
本局		64	78	11,044,386
福岡		25	29	5,015,284
若松		10	15	1,593,393
長崎		91	105	15,894,450
佐世保		93	109	17,361,510
熊本		155	176	25,591,140
大分		102	122	15,460,447
宮崎		51	55	8,030,277
鹿児島		76	86	11,766,107
下関		39	46	7,099,253
計		706	821	118,856,247

〔3〕海技者セミナーの概要

令和4年6月20日北九州市において、船員の雇用の促進を図り、求人者と求職者を一同に集め企業説明や就職面接を集中的かつ効率的に行うことを目的とした「めざせ!海技者セミナー in FUKUOKA」を開催した。

海技者セミナーは、平成17年度の「船員就業フェア」から始まり、名称を「海へのチャレンジフェア」、「めざせ!海技者セミナーin FUKUOKA」と変えて今回で18回目となる。企業ブースの他に海技資格等の相談コーナーを設置して来場者の相談を受けている。

当日は、マスク着用、飛沫感染防止シートの設置等新型コロナウイルス感染症対策を可能な限り行い、海運事業者32者と243名の海上技術学校生及び水産系高校生等の参加があった。

船員不足解消の方策として、当セミナーはミスマッチの解消、より多くの若者の就職につながることを望まれている。

開催状況は表-9のとおりである。

表-9

回数	年度	参加企業数(社)	参加者数(人)		
			学生	一般	計
1	H17	20	29	35	64
5	H21	20	96	30	126
9	H25	24	139	28	167
10	H26	25	175	27	202
11	H27	24	187	43	230
12	H28	35	196	38	234
13	H29	38	206	55	261
14	H30	41	197	45	242
15	R1	35	227	40	267
16	R2	30	120	12	132
17	R3	31	180	30	210
18	R4	32	224	19	243

(注)学生は、海上技術学校、水産系高校、商船系高等専門学校、海上技術短期大学校、水産大学校等の在校生である。